



しかべちょう
北海道 鹿部町

第19号

2004年10月

議会だより

盛田幸妃杯少年野球大会



鹿部クラブーズ

- ◆ 第3回定例会の概要・・・2P
- ◆ 臨時会の概要・・・・・・3P
- ◆ 15年度各会計決算・・・・4P
- ◆ 議員定数を10人に削減・・5P
- ◆ 委員会の活動・・・・・・6P
- ◆ 意見書の提出・・・・・・9P

13チームが出場 雨天にも負けず熱戦を展開!

第1回盛田幸妃杯少年野球大会

10月9日～10日 山村広場野球場・小中学校グラウンド

鹿部クラブーズは惜しくも3位、優勝は江差フェニックス

平成16年 第3回定例会

平成16年第3回定例会は、9月13日に招集され、会期を3日間と決め、町長の行政報告のあと、議案17件を審議し、全て原案どおり可決、その後、正副議長、広域連合議会議員の選挙を行い、会期を1日残して閉会しました。

なお、審議された議案の主な内容は、次のとおりです。

条 例

△大岩地域会館の設置及び管理條例の制定

国道二七八号バイパス工事の支障物件となった大岩生活改善センターの代替施設として建設している大岩地域会館が十月十五日完成の予定（現在完成済み）であり、十一月一日からの供用開始のための設置と管理運営に関する条例を制定した。

【原案どおり可決】

補 正 予 算

△一般会計

歳入歳出それぞれ六百五十九万三千円を追加し、予算総額を、三十億五千八百三万円とした。

内容は、乳幼児医療費の扶助費が三百五十万三千円、間歇泉公園の改修工事請負費で

二百二十二万六千円の追加が主である。

△国民健康保険事業勘定特別

会計

歳入歳出それぞれ二十三万四千円を追加し、予算総額を七億七百四十一万五千円とした。

内容は、国保税賦課業務の処理に係るパソコンシステムの一部変更に伴う業務委託料の追加である。

△介護保険事業特別会計

歳入歳出それぞれ二百二十四万四千円を追加し、予算総額を二億二千五百三十八万八千円とした。

内容は、保険給付費の介護

サービス等給付費で百六十四万六千円、諸支出金の国庫支出金等過年度分交付金償還金五十九万八千円の追加である。

【以上三件

原案どおり可決】

同 意

△鹿部町教育委員会委員の任命

任期満了により、次の方を再度任命することに同意した。

氏名 吉 康郎 氏
住所 字鹿部四九番地の一

△鹿部町固定資産評価審査委員会委員の選任

古村敏男氏が、九月二十四日の任期満了をもって、退任したことにより、後任として、次の方を任命することに同意した。

氏名 川村 光雄 氏
住所 字宮浜三三八番地の一八

【以上二件

原案どおり可決】

あなたも議会を 傍聴してみませんか。

次の定例会は、**12月中旬**に開催される予定です。
(開催日の近くに町防災行政無線でお知らせします。)

選 挙

△議長選挙

前議長 故佐藤友一氏の後任の選挙を行い、盛田鐵次議員が当選されました。

なお、任期は前任者の残任期間の平成十六年九月十四日から平成十七年二月十九日までとなります。

議長 盛田 鐵次



昭和十年三月十二日生
無所属・当選三回

渡島東部消防事務組合議会
議員

議長就任のあいさつ

議員各位のご推挙によりまして、議長の椅子に就かせて頂き、誠に身に余る光栄と存じるとともに、この責任の重大さを痛感致しているところでございます。

何せ、不慣れでございますので、多々皆様方にご迷惑をお掛けすることもあるかとは思いますが、町政執行の責任に当たる町当局側と議決権限を持つ議会側とのそれぞれの権限を尊重し、住民福祉を第一に考え、又、議会が公正にしかも円満に運営がなされますように及ばずながら誠心誠意努力致したいと思っておりますので、どうかひとつ皆様方の心温まるご協力とご支援下さいますようお願い申し上げます。

△副議長選挙

盛田副議長が議長に当選したことに伴い、後任の副議長選挙を行い、千葉光義議員が当選されました。

なお、任期は前任者の残任期間の平成十六年九月十四日から平成十七年二月十九日までとなります。

副議長 千葉 光義



昭和十九年十一月一日生
無所属・当選四回

民生文教常任委員

議会運営委員

議会、だより編集委員

茅部地区衛生施設組合議会
議員

△渡島廃棄物処理広域連合議会議員選挙

故佐藤友一議員の後任の選挙を行い、竹ヶ原公勝議員が当選されました。

なお、任期は前任者の残任期間の平成十六年九月十四日から平成十七年二月十九日までとなります。

竹ヶ原 公勝 議員



昭和二十四年四月二十六日生
無所属・当選五回

民生文教常任委員

民生文教常任委員

第三回臨時会

第三回臨時会は、八月十日に開催され、次の事項について審議しました。

△七飯町・鹿部町合併協議会の廃止

当協議会は、平成十五年九月二十六日に設置され、合併に向け、数々の協議を重ねてきたものの、新市の名称の取扱いにおいて、両町の考え方に相違があり、最終的に調整が付かなかったものである。

合併については、特別委員会を設置し、協議してきており、その中でも、大多数の意見として、この度の七飯町との合併は見送るとの決定であり、又、七月二十二日開催の第十回協議会において、解散が承認されていることから、七飯町・鹿部町合併協議会を廃止した。

【原案どおり可決】

～平成15年度各会計の決算を認定～

第3回定例会初日に、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、翌日開催した同委員会で、委員長に佐藤頼幸氏、副委員長には大沢喜代治氏と決め、その後、各会計ごとに慎重に審査した結果、いずれの会計も認定すべきものと決定され、同日開催の本会議にて、佐藤委員長より委員長報告がなされ、全員異議なく認定した。

なお、各会計の平成15年度の決算状況は次のとおりである。



決算審査特別委員会の様子
9/14 役場大会議室にて

(単位：円)

会 計		歳 入 総 額	歳 出 総 額	歳入歳出差引
一 般 会 計		2,938,059,130	2,898,728,062	39,331,068
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	724,699,235	735,976,688	△ 11,277,453
	老 人 保 健 事 業	524,610,209	500,265,842	24,344,367
	介 護 保 険 事 業	187,917,297	185,857,719	2,059,578
	小 計	1,437,226,741	1,422,100,249	15,126,492
会 水 道 事 業 計	収 益 的 収 支	114,933,226	88,372,948	26,560,278
	資 本 的 収 支	0	40,095,428	△ 40,095,428

決算審査特別委員会 を設置し審査

全議員で構成する



347人が参集した議会広報研修会
8/26 札幌市 第2水産ビル

魅力ある議会だよりを目指して
八月二十六日に札幌市において、議会広報研修会が開催され、議会だより編集委員が出席しました。
講師の広報プランナー和田雅之氏から、議会報づくりの実践とそのヒントと手がかりを得るためにと題し、良い議会だよりの要件などについて、様々な例を用いて懇切丁寧な説明を受けました。
この研修の成果を活かし、魅力ある議会だよりの編集に努めます。

◆次期選挙から、議員定数を

10人に (12人→10人)

当町の議員定数については、平成14年の第3回定例会において、12人とし、次の選挙から適用することとなっていた。

しかし、市町村合併の動きが急展開し、当町においても、七飯町と合併すべく、議員全員協議会、特別委員会、合併任意協議会、合併協議会で協議を進めてきたものの、最終的に合併に至らず、単独での行政運営を選択したものである。

これに伴い、議員自ら定数の削減について協議を重ねた結果、10人とするものである。

又、これに合わせ、総務経済常任委員会及び民生文教常任委員会の定数をそれぞれ6名から5名に改正した。

なお、議員定数、委員定数ともに、次の一般選挙から適用する。

▲議員発議により

改正された条例▼

○鹿部町議会の議員の定数を定める条例

○鹿部町議会委員会条例



定例会冒頭に黙祷を捧げました。



故 佐藤 友一氏

佐藤氏は、昭和36年2月に地域住民の絶大なる信頼と支持を受け、鹿部村議会議員に初当選され、爾来、10期40年にわたり地方行政に尽くされ、常に地方自治仲展の推進役として卓越した指導力、統率力をもって町政の推進に邁進されました。この間、議会議員の厚い信望により総務、建設常任委員長、議会運営委員長、副議長2期8年、更には3期12年現職議会議長の要職に就かれ、優れた識見と熱意をもって円滑な議会運営をこなされました。また、議会議員のみならず、渡島海区調整委員会委員、鹿部漁業協同組合代表理事組合長、渡島福祉会理事等数々の要職につかれ、実に大きな貢献尽力をなされたものであります。

これら多年にわたる自治功労者として、昭和51年に鹿部町町政功労者表彰、また、渡島町村議会議長会表彰をはじめ、北海道町村議会議長会表彰、全国町村議会議長会表彰、自治大臣表彰、北海道社会貢献賞の榮譽ある表彰を受けております。

お悔やみ申し上げます。

鹿部町議会議長 佐藤友一氏が去る八月二十七日、七十三歳をもってご逝去され、八月三十・三十一日に、佐藤家と鹿部町議会による合同葬がしめやかに執り行われました。
ご冥福をお祈りいたします。

会員の活動

所管事務調査

【調査事項】

囲い礁昆布の繁茂及び雑草
駆除事業の現況について

【調査実施日】

平成十六年六月十八日

【調査方法】

鹿部漁業協同組合及び渡島
北部地区水産技術普及指導
所が実施したコンブ増産事業
効果調査に同行し、現地調査
を行った。

総務経済常任委員会

【調査結果】

調査箇所は、宮浜地区と大
岩地区の平成十三年度に整備
した囲い礁がそれぞれ一箇所
ずつ、同じく十三年度に整備
した宮浜地区のバラマキ礁が
一箇所、大岩地区の平成十五
年度に雑草駆除した二箇所
(ザリ石川、三味線滝)の合
計五箇所であり、各調査箇所
における1㎡当たりの平均着
生数については、別表のと
りである。



別 表

調査箇所	事業内容				調査点	水深(㎝)	1㎡当たりの平均潜生数(本)					
	年 度	工 法 ・ 業 名	造成面積(㎡)	底 質			マコ ンブ 2年 生	マコ ンブ 1年 生	ミ ツ イ シ	チ ガ イ ソ	ス ジ メ	ホン ダ ワ 類
宮 浜	H13	囲い礁	5,400	大割石	1	5.0	6.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0
大 岩	H13	囲い礁	2,700	大割石	1	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	13.0	3.0
宮 浜	H13	バラマキ礁	2,500	中割石	1	3.0	0.0	0.0	16.0	11.0	1.0	2.0
ザリ石川	H15	雑草駆除	5,600	岩盤・ 玉石砂	3	1.5～ 3.0	0.0	10.0	15.7	39.3	11.3	0.7
三味線滝	H15	雑草駆除	5,600	軽石・砂	3	2.0	0.0	76.3	0.0	34.7	9.3	3.7

各委員会の閉会中の所管事務調査

各常任委員会及び議会運営
委員会が十二月定例会までの
閉会中に、次の事項について
調査します。

◆総務経済常任委員会

一、台風十八号による被害状
況調査について

◆民生文教常任委員会

一、台風十八号による被害状
況調査について

◆議会運営委員会

一、次期議会の会期日程等の
議会運営に関する事項に
ついて
二、議長の諮問に関する事項
について

民生文教常任委員会

所管事務調査

漂流物については、ホタテ養殖施設のもが主であることから、漁業協同組合と協議し、適正に処理されるよう要請した。

【調査事項】

海岸線（町内一円）の環境調査について

【調査実施日】

平成十六年七月十四日

【調査方法】

現地調査実施後、質疑を行った。

【調査結果】

去年一昨年、海岸の不法投棄や漂流物については、町で撤去したが、現地調査した結果、新たな不法投棄が確認された。

又、今後、不法投棄の懸念がある場所もいくつかあり、不法投棄防止のために、町広報や防災無線で啓蒙するよう要請した。



市町村合併に関する調査特別委員会

最終報告

八月十日開催の第三回臨時会で、佐藤委員長から報告がありました。報告書の内容は次のとおりです。

【調査事件】

七飯町・鹿部町との合併に関する事項

【調査の経過】

本委員会は、平成十五年十一月二十八日第三回臨時会において、七飯町・鹿部町との合併に関する調査活動のため、議長を除く議員十三名で設置され、同日第一回特別委員会を開催し、委員長に佐藤頼幸委員、副委員長に小西静夫委員を選出した。

更に同日、第二回特別委員会を開催し、企画振興課と出納室の事務事業の調整内容について説明を受けた。

又、新市の名称について協議し、既存の両町の名称は使用せずに、新たな名称とする

ことが確認されている。

平成十五年十二月十五日第三回特別委員会を開催し、第三回合併協議会の報告及び第四回合併協議会の議事日程についての説明、又、税務課と地籍管財室の事務事業の調整内容について説明を受けた。

平成十六年一月九日第四回特別委員会を開催し、第四回合併協議会の報告及び第五回合併協議会の議事日程についての説明、又、水産経済課の事務事業の調整内容について説明を受けた。

なお、新市の名称については、既存の両町の名称は使用せずに、新たな名称とすることを再度確認し、合併協議会において、議会選出の合併協議会委員が発言することで決

定している。

平成十六年一月十三日第五回特別委員会を開催し、消防署及び防災対策室の事務事業の調整内容について説明を受けた。

平成十六年一月十六日第六回特別委員会を開催し、第五回合併協議会の報告、町民生活課及び福祉保健課の事務事業の調整内容について説明を受けた。

平成十六年一月二十日第七回特別委員会を開催し、建設水道課及び総務課の事務事業の調整内容について説明を受けた。

平成十六年一月二十三日第八回特別委員会を開催し、学校教育課、社会教育課、学校給食センターの事務事業の調整内容について説明を受けた。

平成十六年一月二十六日第九回特別委員会を開催し、議会事務局の事務事業の調整内容について説明を受けた。

又、今後の合併協議会で協議すべき事項の確認がなされ、新市の名称については、両町の名称を廃し、新たな名称とすることが再確認されている。

平成十六年三月十一日第十一回特別委員会が開催され、第六回合併協議会の報告及び第七回合併協議会の議事日程についての説明並びに新市の名称の応募集計結果について報告を受けた。

平成十六年四月十二日第十二回特別委員会を開催し、第七回合併協議会の報告及び第八回合併協議会の議事日程について説明を受けた。

平成十六年七月十六日第十三回特別委員会を開催し、新市の建設計画における財政推計及び平成十五年度七飯町・鹿部町合併協議会会計の決算について説明を受けた。

その後、今回の七飯町との合併について協議し、今回の合併は見送るという結論に達し、その旨を町長に伝えている。

又、今後の合併協議会で協議すべき事項の確認がなされ、新市の名称については、両町の名称を廃し、新たな名称とすることが再確認されている。



委員長報告を述べる佐藤委員長

【調査の概要及び結果】

本委員会は、今日までに十四回の委員会を開催し、平成十七年二月一日七飯町と合併すべく、法定協議会で協議すべき事項二十七項目千五百余りの事務事業一元化に向けて調査してきたところである。

任意合併協議会の設立が平成十五年六月三十日更に法定協議会の設立が九月二十六日であり、本委員会設立までの

間の各協議会の調査については、議員全員協議会にて協議がなされている。

ただ重要項目である合併の方式については、編入であるが中身は対等で進めることを確認しており、平成十五年十月二十日開催の合併協議会において合併の方式は編入方式で原案どおり承認されている。

又、平成十五年十一月二十八日開催の本委員会において新市の名称についての協議がなされ、せめて名称は両町の名称を使用せず、新たな名称をつけることを確認し、十五年十二月二十二日開催の合併協議会をはじめ再三にわたり、新たな名称をつけることを合併協議会委員を通じ、申し入れを行ってきたが、調整困難となり、広く意見を求めたアンケート集約に漢字の『七飯市』、ひらがなの『ななえ市』、『大沼市』の三つが選考委員会により報告がなされた。

当委員会としては、最終的に第二の産業である観光振興面と全国的に知名度のある新しい名前の『大沼市』の申し

入れを行ってきたところであるが、編入方式だが中身は対等という認識のずれと七飯町議会特別委員会での合併協議会前の名称の決議が解決に至らず、溝が埋まらなかったことから、七月十六日開催の第十三回本委員会で大多数の委員が今回の七飯町との合併を見送る決定をしたものである。



市町村合併に関する調査特別委員会

意見書の提出

第3回定例会において、3件の意見書を可決し、関係省庁等へ提出しました。

道路整備に関する意見書

道路は生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な施設であり、高規格幹線道路から市町村道に至るまで、道路網整備は道民が長年にわたり熱望してきているところであり、長期的な視野に立つて計画的に整備が推進されるべきものであります。

特に高規格幹線道路のネットワーク形成は、地域経済の活性化、救急医療など・災害時の代替ルートの確保、さらには、安定した食料供給基地・観光資源の提供の場として、その役割をしっかりと担うための重要課題であります。

よって、国においては、北海道の道路整備の実情を十分踏まえ、引き続き、計画的かつ早期に整備が図られるよう強く要望する。

日本郵政公社存続に関する意見書

政府は、郵政事業の民営化を二〇〇七年四月に実施するとして、経済財政諮問会議で審議を開始し、民営化を行うおとします。

しかし、民営化となれば不採算地域からの撤退、不採算事業の縮小は、経済原則から見ても、また昨今の民間事業の動向を見ても明らかであります。

金融不安も完全に払拭されていない今日、日本全国どこでも受けられる郵便、郵便貯金、簡易生命保険サービスの提供は国民生活に必要不可欠であり、今後も国民の権利として守られるべきものであります。

よって、国会及び政府におかれては、地方切り捨てにつながるような郵政事業の民営化を行うことなく、国営公社としての日本郵政公社の存続を堅持されるよう提案する。

地球温暖化防止のための森林吸収源対策の確実な推進を求める意見書

北海道の森林は、本道面積の7割を占め、エゾマツやミズナラに代表される天然林やカラマツなどの人工林が豊かに広がり、地域産業の資源となるなど、道民のかけがえのない貴重な財産となっています。

このような中で、採算性の悪化などの厳しい情勢から、間伐や植林などの事業活動が停滞しており、森林の持つ多面的機能の持続的な発揮が危ぶまれています。

一方、京都議定書では、我が国の温室効果ガス削減目標6%のうち3.9%を森林で確保することとしており、とりわけ全国の森林面積の4分の1を占める北海道の森林に対しては、二酸化炭素の吸収・貯蔵を通じた地球温暖化防止機能を発揮する上で、国民から大きな期待が寄せられており、それを実現するための森林整備に必要な財源確保と道産材の利用促進を図り、林業・木材産業の活性化、山村地域の振興を図ることが極めて重要であります。

よって、国においては、吸収源対策としての森林整備を強力に進めるため、温暖化対策税の創設を図り、その税収の活用目的に森林整備や保全を位置付けるよう提案する。

議会のうどき

7月

- 8日 北海道町村議会議長会主催議員研修会（函館市・各議員出席）
- 13日 議会だより編集特別委員会
- 14日 民生文教常任委員会所管事務調査
- 16日 市町村合併に関する調査特別委員会
- 20日 議会だより編集特別委員会
- 21日 監査委員より平成16年6月分の出納検査報告書を受領
- 22日 七飯町・鹿部町合併協議会（七飯町・関係議員出席）
- 23日 茅部地区衛生施設組合臨時議会（砂原町・関係議員出席）
- 26日 市町村合併に関する調査特別委員会

8月

- 10日 議会運営委員会、第3回臨時会
- 16日 成人式（各議員出席）
- 23日 議員全員協議会
- 24日 監査委員より平成16年7月分の出納検査報告書を受領
- 26日 議会広報研修会（札幌市・議会だより編集特別委員出席）

9月

- 4日 鹿部消防団秋期演習（各議員出席）
- 10日 議員全員協議会、議会運営委員会
- 13日 第3回定例会1日目
- 14日 決算審査特別委員会、第3回定例会2日目
- 15日 総務経済・民生文教常任委員会合同所管事務調査
- 17日 敬老会（議長外各議員出席）
- 27日 監査委員より平成16年8月分の出納検査報告書を受領

～ご意見・ご感想をお寄せ下さい。～

議会だより編集特別委員会では、「親しまれる議会だより」を目指し、皆様の声をお待ちしております。

編集後記

スポーツの秋です。駒大苦小牧が夏の甲子園初制覇、プロ野球では、北海道日本ハムのプレーオフ進出、又、アテネ五輪での日本選手の大活躍で、日本中が沸き上がりました。今年は、スポーツ、そして、北海道が盛り上がった年ではないでしょうか。

今年も、残り2カ月です。町民の皆様におかれましては、日頃の健康管理に十分留意され、スポーツを楽しんでいただきたいと思います。

さて、我々、編集委員一同、残された任期を、親しまれ魅力ある議会だよりづくりのために努力する所存でありますので、お気付きの点がございましたら、御一報いただければ、今後の参考とさせていただきます。

◎議会だより編集特別委員会

委員長	笠原 賢
副委員長	浦 梅吉
委員	盛田 鉄次
委員	千葉 光義
委員	中川 一